

里山から考える自然

環 Defining Nature from in terms of "Satoyama"

【Abstract】

The original definition of "nature" is "the place which has never been modified by the human". Given that, nature does not exist around the human. Nevertheless, there are a lot of "nature" in the current society. This is a big question.

In this study, we discussed the difference between the "original nature" and the "familiar nature".

【研究動機・目的】

近年、都市部においても自然を増やそうとする活動が行われている。ならば、現在の世の中に溢れている、私たちが「自然」と呼んでいるものは一体何であるのか。里山を通じて、私たちのそばにある自然について議論した。

【議論の流れ】

- ①自然とはなにか
- ②里山とはなにか
- ③これからの自然の在り方

【自然の定義・自然観の変遷】

自然の定義(辞書的意味)

天体、山川草木、動物など人間社会をとりまき、人間となんらかの意味で対立するすべてのもの

日本的自然観

日本に根付く仏教思想



人と自然が対等または、その一部として考えられている

西欧的自然観

- ・人間以外の自然物は神により創造
- ・人間は自然の支配者である



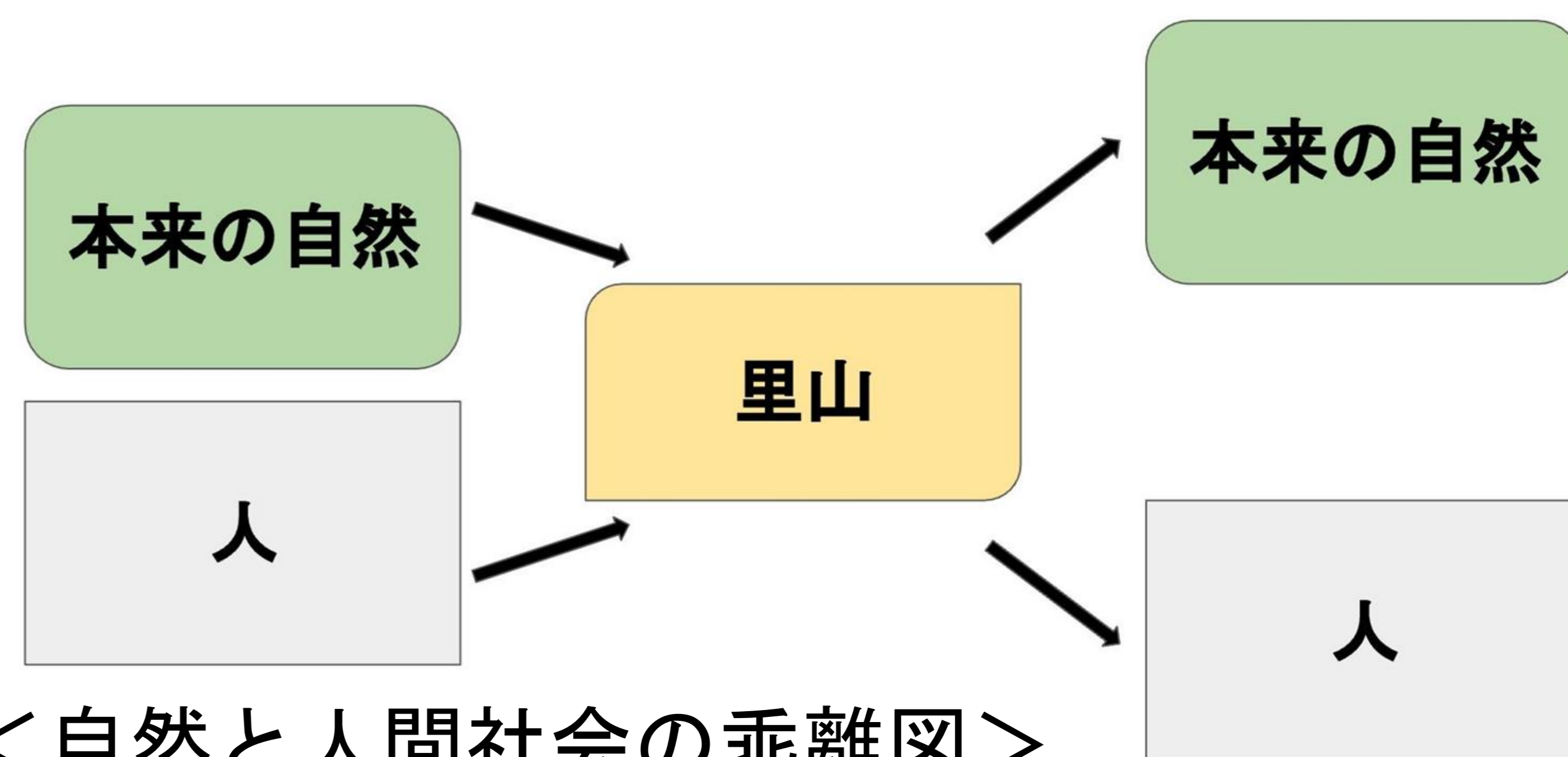
人間中心的な自然観が確立

- ・辞書的な意味では西洋的自然観が優位
- ・しかし、日本的自然観が無くなったわけではないと考えられる
- ・認識の差→自然に対する考え方の相違

【里山とは】

里山の定義(辞書的意味)

自然と都市の中間に位置し、集落とそれを取り巻く周辺環境で構成される地域。



<自然と人間社会の乖離図>

【未来の自然】

- ・人間社会は本来の自然を切り離れた
 - ・ただし、現代社会においては、完全な自然の排除にはならなかった
 - ・公園を始めとした都会の自然
 - 新たな問題である環境問題・忙しい社会を生きる人々のこころの支え
- ⇒この役割も、また新しい自然の価値観として確立されている

【謝辞】

ご協力くださいました先生、ありがとうございました。

【参考文献】

横浜さとやま研究所・NORA <https://nora-yokohama.org/satoyama/>
 NACS-J 日本自然保護協会 <https://www.nacsj.or.jp/archive/2000/03/1087/>
 KARUTA(楽しく日本を学ぼう!) <https://hajl.athuman.com/karuta/custom/000422.html>
 かやぶきの里 <https://miyamanavi.com/sightseeing/kayabuki-no-sato>

以上の文献の最終閲覧日:2021年12月10日